

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ES11A002	特色あるカリキュラムづくりの理論と実践(Theory and Practice in Curriculum Development)					共通科目						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1	大学院教育学研究科			氏名 森才三、小池 一彦 E-mail mori-saizou@oita-u.ac.jp kkoike@oita-u.ac.jp 内線 森6133、小池7538						
授業の概要	・本授業においては、特色あるカリキュラムづくりの理論と実践に関する理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討する力を養う。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	各教科等における特色あるカリキュラムづくりを行うための原理について深く理解する。											
目標2	学校現場の事例を題材として、特色あるカリキュラムづくりの原理に関する現状の課題を発見する。											
目標3	特色あるカリキュラムづくりの原理に関する学校現場の現状の課題に対し、具体的な対応策を立案・検討することができる。											
目標4	個に応じた指導を行い、個や集団に応じた学習環境を構成するための実践的知識について深く理解する。											
目標5	学校現場の事例を題材として、個に応じた指導や学習環境に関する現状の課題を発見する。											
目標6	個に応じた指導や学習環境に関する学校現場の現状の課題に対し、具体的な対応策を立案・検討することができる。											
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	授業テーマに関する学校の具体的課題の理解											
2	特色あるカリキュラムづくりの原理											
3	特色あるカリキュラムづくりの方法											
4	特色あるカリキュラムづくりの事例分析											
5	特色あるカリキュラムづくりに関する実践的演習											
6	特色あるカリキュラムづくりに関する討議											
7	フィールドワーク											
8	個に応じた指導の原理と事例分析											
9	個に応じた指導の実践的演習と討議											
10	学習環境構成の原理と事例分析											
11	学習環境構成の実践的演習と討議											
12	フィールドワーク											
13	個に応じた環境構成の原理と事例分析											
14	個に応じた環境構成の実践的演習と討議											
15	全体を通じた学習成果の発表と総括											
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	事例研究の演習では、現職院生と学卒院生とのペアワーク、グループワーク、討論など、アクティブラーニングの手法を取り入れる			工夫	その他の						
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修 事後 学修											
教科書	特になし。授業中に指示する。											
参考書	特になし。授業中に指示する。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組むべき姿勢、討論への参加等)	70%										
	最終レポート	30%										
注意事項	・本授業においては教員集団のメンバーとしての自覚を持ち、メンタリングの観点から、経験の豊富な者は経験の少ない者の成長をサポートするよう努力すること。また、経験の少ない者は経験の豊富な者に積極的に教えを請うこと。											
備考	事例研究においては現職院生と学卒院生によるカリキュラム作りを行うなど、対話的な問題解決の形を取りながら授業を進めることを重視し、アクティブラーニングの手法を取り入れ、現職院生・学卒院生両者の学びあい・相互評価を基本とし、実務家教員・研究者教員も参画したチームによる学習に取り組む。											
リンク	URL											